

令和4年度 私費外国人留学生特別入試 学 生 募 集 要 項

出 願 期 間	令和4年1月4日（火）～1月6日（木）
第 1 次 選 考	令和4年1月19日（水）
第 2 次 選 考	令和4年2月14日（月）
合格者発表日	令和4年3月 9日（水）
入 学 手 続 日	令和4年3月22日（火）



東京工業大学
Tokyo Institute of Technology

入学希望者へのメッセージ

誰も見たことのない未来をつくりだせ

世界はいまだ謎に満ち、課題にあふれています。生命はいかにして誕生したのか。人工知能は医療を、経済を、社会を、どう変えるのか。病に伏した人をどう癒すのか。宗教間の対立は止むことはなく、エネルギー問題も重くのしかかっています。一朝一夕には答えの見いだせないこうした謎や課題をめぐって、いまこの瞬間も、世界中の科学者や技術者、その他各分野の専門家たちが、その叡智をかけて議論しあっています。真理の探究と幸せの追求をかけた人類のあくなき挑戦。その壮大な歩みに、あなたは仲間入りしようとしています。

1881年に創立されて以来、時代を切り拓くフロンランナーとして、理工系総合大学としての使命を担ってきた東京工業大学。目指すのは、科学技術の強い基盤を持ちながら、従来の“理系”の枠を超え出ること。なぜなら、どんなに高度で専門的な知識でも、ただそれを持っているだけでは、わくわくするような発見や発明に出会うことも、困難な問題を解決に導くことも、決してできないからです。だからこそ、本学の門を叩こうとするあなたには、以下のような心構えを持ってのぞんでほしい。“理系”の枠に安住しない人を、本学は求めています。

①高い志を持ってほしい

これからの時代、ただ引かれたレールに乗っかっていくだけ、ただ自分の専門に没頭するだけでは通用しません。あなたは将来、何を為したいのか。社会に、どんな貢献をしたいのか。高い志を持ち、それを育てる人であってほしい。その志にかたちを与えるのが科学技術です。東工大は、志をかたちにしようとする人を支えます。失敗をおそれず挑戦し、すすんで学ぶ人を歓迎します。

②多角的な視点を持ってほしい

常識や「空気」にとらわれた思考では、新しい発想は生まれません。自分の強みを持ちつつ、幅広い分野に興味を広げ、専門の異なる人や文化の異なる人とも協働できる柔軟な姿勢を持って、世界にはばたいてほしい。ものごとを多角的にとらえる視点からこそ、「そんな考え方もあったのか!」と人々を驚かせるアイディアは生まれます。人と人、知と知を結びつけようとする人を本学は求めます。

さあ、誰も見たことのない未来を、ともに作り出していきましょう。気概あるみずみずしい知性と出会うことを、期待しています。

〈学士課程〉入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材像

科学技術への知的好奇心や探究心と社会に貢献したいという志を有し、その基本的概念や基礎知識とそれを活用できる力を身に付けた人材を求めます

求める力

専門力	理数系分野に関する基本的概念や基礎知識
教養力	社会に関する基礎的知識と語学力
コミュニケーション力	自らの考えを具体的に表現できる力
展開力	論理的に思考して自らの知識を活用できる力

各学院が求める人材像

【理学院】

理学院学士課程では、幅広い教育と自由な発想に基づいた研究を通じて、社会や文化の発展に広く貢献することを目指しています。そのために次のような学生を求めます。

- ・自然界の仕組みについて深く知りたいという強い好奇心を持つ人
- ・教わるだけでなく、自ら主体的に学ぶことができる人
- ・自分の意見を持ち、他者と議論することができる人
- ・十分な学力と表現力を持つ人

【工学院】

工学院学士課程では、人の生活を豊かで快適なものとするための工学的知識・技術を習得し、さらにそれらを進化させるための研究活動の基本を身につけます。そのために、次のような人材を求めます。

- ・工学的知識・技術を活かして人類と社会の発展に貢献しようという高い志を有する人
- ・自らの能力向上のために積極的に学ぶ意欲をもつ人
- ・工学を学ぶために、理数系科目を中心とする確実な基礎学力を身につけた人
- ・論理的思考力を有し、他者と意思疎通できる基本的なコミュニケーション力を備えた人

【物質理工学院】

物質理工学院学士課程では、材料科学および応用化学に関する確かな基礎学力と明快な論理的思考力を持ち、環境調和型社会の発展に貢献できる人材を養成します。そこで、次のような学生を求めます。

- ・自然科学の幅広い分野について基礎学力を有し、柔軟な発想ができる人
- ・材料や応用化学に関係する諸現象について積極的に学習する意欲がある人

【情報理工学院】

情報理工学院学士課程では、よりよい情報化社会を築くために必要となる情報理工学に関する幅広い知識と柔軟で広い視野を持った人材の育成を目指します。そのために、次のような資質と能力を持つ人材を求めます。

- ・数学や理科に関する十分な基礎学力を有する人
- ・数理工学に興味を持ち、コンピュータの仕組みや活用法に興味を持つ人
- ・情報理工学の知見を活かし情報化社会の発展に貢献したいという志を有する人

【生命理工学院】

生命理工学院学士課程では、理工系の基礎知識や生命理工学分野の基礎的専門知識を修得させ、生命理工学に関連した科学・技術の発展に資する課題解決力と倫理観を養います。そこで、本学院では次のような能力と適性をもつ人材を求めます。

- ・自然科学の基本的な概念や考え方を身に付け、応用できる力を有している人
- ・論理的に思考し、集中してものごとに取り組むことができる人
- ・生命理工学の専門教育で必要となる基礎的な語学力を有している人
- ・生命現象を探究し、科学・技術の発展に貢献する意欲を有している人

【環境・社会理工学院】

環境・社会理工学院学士課程では、人類と社会の持続的発展に貢献するために理工学的叡智に加えて人文社会科学の叡智を広く環境や社会に応用・展開して卓越した学術・技術を創生するとともに、高い知性と豊かな教養、国際的な広い視野と深い思考能力を備え、科学・技術の専門家として社会で活躍できる人材を養成する。そこで、本学院では特に次の能力と適性を持つ人材を求めます。

- ・理数系分野に関する基本的な概念や確実な基礎知識を持つ人
- ・学士課程の専門力を身につけるため必要となる基礎的な語学力を持つ人
- ・自らの能力向上のため主体的に理工学分野ならびに人文社会科学分野について学ぶ意欲を持つ人
- ・人類と社会の持続的発展に貢献しようという高い志を持つ人

I 募集人員

学 院	系	募集人員
理学院	数学系	若干人
	物理学系	
	化学系	
	地球惑星科学系	
工学院	機械系	10人
	システム制御系	
	電気電子系	
	情報通信系	
	経営工学系	
物質理工学院	材料系	5人
	応用化学系	
情報理工学院	数理・計算科学系	若干人
	情報工学系	
生命理工学院	生命理工学系	若干人
環境・社会理工学院	建築学系	25人 (うち融合理工学系20人)
	土木・環境工学系	
	融合理工学系	

Ⅱ 出願資格

次の（１），（２）及び（３）の全てを満たしている者

（１）日本国籍を有しない者（注１）

（２）在留資格「留学」の者又は入学時に「留学」を取得できる見込の者で、次の各号のいずれかに該当するもの

- ① 外国において、学校教育（文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を除く。）における１２年の課程を修了した者及び令和４年３月３１日までに修了見込みの者（注２）又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの（注３）
- ② スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者、ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者、フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者又はグレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCE Aレベル資格）を有する者
- ③ アメリカ合衆国カリフォルニア州に主たる事務所が所在する団体であるウェスタン・アソシエーション・オブ・スクールズ・アンド・カレッジズ（WASC）、同国コロラド州に主たる事務所が所在する団体であるアソシエーション・オブ・クリスチャン・スクールズ・インターナショナル（ACSI）又はグレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国ハンブシャー市に主たる事務所が所在する団体であるカウンセル・オブ・インターナショナル・スクールズ（CIS）から教育活動等に係る認定を受けた外国に所在する教育施設に置かれる１２年の課程を修了した者及び令和４年３月３１日までに修了見込みの者

（３）独立行政法人日本学生支援機構主催、２０２１年度日本留学試験の日本語（記述、読解、聴解・聴読解）及び理系３科目（物理、化学、数学コース２：日本語又は英語での受験可）を受験し、**日本語の成績が４５０点満点中２９０点以上、理系３科目の成績が４００点満点中３１０点以上**であること。（成績結果は、６月又は１１月の試験のいずれか一方しか利用できない。）

（注１）日本国籍を有する二重国籍者は、本入試に出願することはできない。

（注２）高等学校までの課程が１２年に満たない国の教育施設を卒業した者や、インターナショナルスクール出身者については、出願が認められない場合があるため、必ず出願前のできるだけ早い時期に入試課に照会すること。

（注３）「これに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの」とは、昭和５６年文部省告示第１５３号に指定された者

（注４）日本の高等学校又は中等教育学校を卒業した者（卒業見込みの者を含む。）及び日本国永住許可を得ている者は、本入試に出願することはできない。

Ⅲ 出願

1. 出願期間 **令和4年1月4日（火）から 1月6日（木）（1月6日必着）**
2. 出願方法 **郵送のみ受け付けます。**
出願書類等は、本学所定の封筒に入れ、必ず「**速達書留**」で郵送してください。
3. 出願書類等 下記のうち、ア、イ、キ、ク及びケについては、**本学所定のもの**を使用してください。

ア 入学志願票	太線枠内に明瞭に記入してください。ペン又はボールペンを使用し、色は黒又は青に限ります。	
イ 写真票・受験票	写真は、半身脱帽正面向で、出願前3か月以内に撮影した写真（縦4 cm×横3 cm、カラー。普通紙にプリントしたものは不可。）を所定欄に貼ってください。	
ウ 成績証明書	日本の高等学校(国で定められた12年の課程)に相当する課程における3年間全ての成績証明書。	出身学校長等が発行したもの。（原本） ※コピーは認めません。原本を提出できない場合は大使館等の公的機関で原本証明されたものを提出すること。本学にて原本証明は行いません。 ※英語・中国語以外の証明書は、自国の公的機関で証明した日本語訳又は英語訳を添付してください。
エ 卒業証明書等	出願資格を満たすことを証明する卒業証明書等。	
オ 日本留学試験	日本留学試験受験票のコピー（スコアシートは不要）	
カ 在留カード等	在留カードの両面の写し（在留期間満了日前であれば外国人登録証明書でも可）又は、国籍及び在留資格を確認できるもの（パスポートの写し、在日公館の証明書等）を提出してください。	
キ 入学検定料	17,000円を別添の払込取扱票にて郵便局・ゆうちょ銀行又は金融機関の窓口で払い込み、「振替払込受付証明書（お客さま用）」を入学志願票裏面の所定欄に貼ってください。 ※出願時、国費外国人留学生は入学検定料は不要です。ただし、国費外国人留学生であることを証明できる書類を提出してください。 ※入学を希望する者又は主たる家計支持者が居住する地域の自然災害により災し、災害救助法（昭和22年法律第118号）の適用を入学願書の提出時に受けており、検定料の納付が著しく困難であると認められる場合には、入学検定料を免除することがあります。下記のような場合に免除となりますが、詳しくは出願期間前に入試課までお問い合わせください。 ①主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流出した場合。 ②主たる家計支持者が死亡又は行方不明の場合。	
ク 受験票又は通知書等送付用封筒	封筒に、志願者の郵便番号、住所（日本国内）及び氏名を記入し、 354円分の切手を貼ってください。	
ケ 住所票	合格通知等発送用に使用しますので、必ず全ての欄に記入してください。	
コ その他	出願資格審査により認定された者は、「出願資格審査の結果について（通知）」のコピーを提出してください。	

注 上記ク及びケについては、海外には送付しませんので、海外にいる者は日本国内在住の代理人等の郵便番号、住所及び氏名を記入してください。また、代理人等の氏名に加えて、志願者本人の氏名を必ず括弧書きで記入してください。

4. 障害等のある志願者は、その障害の種類、程度に応じ受験上及び修学上の配慮を必要とすることがありますので、必ず出願期間前に入試課まで問い合わせてください。相談内容によっては、受験上の配慮ができなくなる場合がありますので、なるべく早く相談してください。

IV 入学者選抜方法

1. 入学者選抜方法

(1) 入学者の選抜は、日本留学試験の成績並びに本学が行う学力検査及び面接の成績を総合して行います。なお、志願者が募集人員の約3～4倍を超えた場合には、日本留学試験の日本語及び理系3科目の成績（合計得点）により第1段階選抜を行うことがあります。第1段階選抜に合格した者に対し、第2段階選抜として、学力検査及び面接試験を行い、最終合格者を決定します。ただし、第2段階選抜は学力検査を第1次選考とし、その合格者に対し第2次選考の面接試験を行います。

(2) 志願者は系を選択して出願してください。志望する系は第5志望まで記入できます。所属する系の決定は、「I 募集人員」に従い、**成績優先志望系順**にて行います。

学力検査の成績が上位であっても、第5志望までの系が定員に達している場合は不合格になりますので、志望する系の記入には十分注意してください。

※志望系の記入方法：9ページ「X 志望系記入例」を必ず参照してください。

(3) 渡日前特別推薦

出願資格を満たす者のうち、日本に在留しているものを除き、海外において、令和3年6月又は11月実施の日本留学試験の理系3科目（物理，化学，数学コース2）の成績が400点満点中350点以上の者で、次の系より推薦を受けたものは、選考のうえ、学力検査及び面接又はそのどちらかを免除する場合があります。

・環境・社会理工学院 融合理工学系

渡日前特別推薦を希望する者は、入試課大学入試グループ (nyu.gak@jim.titech.ac.jp)宛てに、令和3年6月又は11月実施の日本留学試験受験票のPDFを添付したうえで、氏名を記載してEメールを送ってください。

Eメール受付締め切り： 令和3年12月23日（木）

推薦の可否通知予定日： 令和3年12月27日（月）

出願書類郵送締め切り（必着）： 令和4年1月6日（木）

※渡日前特別推薦と私費外国人留学生特別入試は併願できません。

※出願受理後の取り消しはできません。

【出願書類】

1. 渡日前特別推薦申請書	申し込みのあった者に様式を送付します。
2. 入学志願票	
3. 受験票・写真票	
4. 成績証明書	Ⅲ 出願 ウと同じ。
5. 卒業証明書等	Ⅲ 出願 エと同じ。
6. 日本留学試験受験票のコピー	Ⅲ 出願 オと同じ。
7. パスポートのコピー	パスポートがない場合は、パスポートが申請中であることが分かるレシートでも可。
8. 入学検定料支払いのコピー	WEBの検定料支払いシステムで入学検定料を支払った後、Result(Application Completed)のページを印刷したもの（*） 支払いシステムは可否通知時に案内します。 支払いには次のクレジットカードが必要です。 VISA, MasterCard, JCB, American Express, Alipay, China UnionPay

2. 選抜試験

(1) 第1段階選抜

志願者が募集人員の約3～4倍を超えた場合には、日本留学試験の成績（合計得点）により、第1段階選抜を行うことがあります。

① 第1段階選抜の結果について

第1段階選抜合格者の掲示等の発表は行いません。ただし、各自に次のように通知します。

第1段階選抜の合格者には受験票及び第2段階選抜・第1次選考の受験案内を、不合格者には不合格通知を令和4年1月13日（木）に速達郵便で発送します。1月16日（日）までに届かない場合は、1月17日（月）以降、必ず入試課まで連絡してください。

② 第1段階選抜合格者は、送付されてくる受験票により、第2段階選抜・第1次選考を受験してください。

(2) 第2段階選抜

試験場は、第1次選考及び第2次選考ともに本学大岡山キャンパスにて実施します。

① 第1次選考（学力検査）

i. 試験日・配点等

試験日	試験科目	配点	試験時間
令和4年 1月19日（水）	数 学	100	9:30～10:30（60分）
	物 理	100	11:00～12:00（60分）
	化 学	100	13:00～14:00（60分）
	英 語	100	14:30～15:20（50分）
	※日本語	100	15:50～16:40（50分）

※日本語を50点以上取得した者を対象として、日本語を除く4科目の合計により選考する。

ii. 第1次選考の結果について

1月28日（金）の12時頃より本学「高校生・受験生向けサイト」（巻末参照）に第1次選考合格者の受験番号を掲載します（PDF形式）。

併せて第2次選考の「面接集合時間・場所について」を掲載しますので、必ず確認してください。

② 第2次選考（面接）・・・第1次選考合格者対象

面接日 令和4年2月14日（月）

V 第2次選考合格者発表

1. **令和4年3月9日（水）12時頃**より本学「高校生・受験生向けサイト」に掲載します（PDF形式）。また、合格者発表と同時に合格者に対して、合格通知書及び入学手続書類を発送します。住所変更をした者は、必ず入試課に連絡してください。

2. 合否に関する電話・メール等による問い合わせには一切応じません。

なお、試験当日に、学外（大学正門前、大岡山駅周辺）で行っている合否電報等の勧誘は、大学とは一切関係ありませんので十分注意してください。これらのことから生じるトラブル等に対して、本学は一切責任を負いません。

Ⅵ 入学手続等

1. 手続方法

入学手続書類を郵送いただくことにより、入学手続を行います。以下の提出期限までに必要書類を速達書留により郵送してください。入学手続の日時・方法については変更する可能性もありますので、詳細は、合格者発表日に郵送する入学手続関係書類を必ず確認してください。

提出期限：令和4年3月22日（火）15時必着

[注]提出期限までに提出がなかった場合は、入学を辞退したものとして取り扱い、これ以降の入学手続は認められません。なお、合格したもの、入学しない場合は、受験番号、氏名及び入学辞退の旨を、**3月22日（火）12時まで**に、教務課（gak.nyutetsu@jim.titech.ac.jp）へメールで連絡してください。

2. 手続事項

「入学手続書類の提出」（令和4年3月22日（火）必着）の後、3月下旬に「入学関係書類の提出」を行っていただく必要があります。詳細は、合格者に送付する入学手続関係書類を必ず参照してください。

（1）「入学手続書類の提出」で必要なもの

- ① 学生証（4年間有効）用の写真1枚
3.0cm(タテ)×2.5cm(ヨコ)、正面向き、上半身、脱帽、3か月以内に撮影のもの、スナップ写真は不可
- ② 入学料 282,000円（予定）
入学手続書類に同封している所定の払込取扱票で事前に郵便局・ゆうちょ銀行又は金融機関で払い込んでください。入学料徴収猶予の希望者は、合格者に送付する入学手続関係書類にて申請方法をご確認ください。
- ③ その他諸経費
ア セミナー経費（学院によって異なる）
イ 各種保険等（30,000円程度）

（2）「入学関係書類の提出」で必要なもの

- ① 高等学校卒業証明書等 1通
外国において大学入学資格として認められている認定試験への合格や資格取得により本学に出願する者は提出不要です。
- ② 書類貼付用の写真2枚
3.0cm(タテ)×2.5cm(ヨコ)、正面向き、上半身、脱帽、3か月以内に撮影のもの、スナップ写真は不可

3. 授業料について

（1）授業料は、前学期分・後学期分各317,700円（年額635,400円）（予定）です。納付期限は、前学期分5月末まで、後学期分11月末までとなっています。

納付期限の変更が行われた場合、その都度本学ホームページに掲載します。

（2）口座振替での納付となりますので、入学手続時又は4月1日（金）までに「預金口座振替依頼書」を提出してください。納付は、「分割」「一括」のどちらかを選択できます。

分割・・・前学期分を5月、後学期分を11月に口座振替

一括・・・前学期分と後学期分を5月に一括して口座振替

（3）在学中に授業料改定が行われた場合、在学生に適用する授業料額については、その都度公示します。

4. ビザ手続きについて

- (1) 入学手続き時に、在留資格が「短期滞在」等「留学」以外の資格を有している場合は、速やかに「留学」に変更してください。
- (2) 合格後、新たに海外から入国する場合は在留資格「留学」の取得が必要ですが、合格から入学までの期間が短いため、ビザの発給手続きが入学までに完了しません。国によって対応が異なりますので、3月9日以降、入学意志のある者は早急に、入試課大学入試グループ (nyu.gak@jim.titech.ac.jp) に連絡してください。

5. その他

- (1) 総合オリエンテーション及び入学式は令和4年4月上旬に行う予定です。日程・場所等の詳細は、合格者に送付する入学手続関係書類を参照してください。
- (2) 新入生の健康診断を入学式前の日程で実施予定です。本学が指定した日時（「入学手続説明書」に記載）に、大岡山キャンパス保健管理センターにおいて全員が必ず受診してください。

VII 感染症予防について

出身国により予防接種状況が異なる背景や、本学の感染症に対するリスク管理の観点から、入学者選抜試験に合格した入学予定の留学生（日本国内の他大学、高等専門学校及び日本語学校等出身の留学生を含む）は、入学前の3ヵ月以内に医療機関で医師が作成した健康診断書を、原則入学前までにご提出いただきます。詳細は下記 URL を参照してください。

<https://www.titech.ac.jp/student-support/students/health/international>

VIII 個人情報の取扱いについて

出願書類に記載の情報は、入試及び学務関連業務のみに使用します。個人情報の取り扱いは以下のとおりになります。

1. 出願にあたり知り得た個人情報については、①入学者選抜業務、②入学手続業務、③授業料徴収に関する業務を行うために利用することとします。
2. 出願にあたり知り得た個人情報及び入学者選抜の試験成績は、入学者のみ、①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等）の業務を行うために利用することとします。
3. 入学者選抜の試験成績は、今後の入学者選抜方法等の検討に利用することがあります。
4. 上記1～3の各種業務での利用にあたり、一部業務を本学より委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。委託にあたり、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、個人情報の全部又は一部を提供することがあります。

IX 注意事項

1. 出願書類のうち、一つでも不備がある場合は、受け付けません。
2. 出願手続後の提出書類の内容変更は認めません。また、一度受理された出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。
3. 出願書類等について、虚偽の申請、不正等の事実が判明した場合は、合格等を取り消すことがあります。
4. 一度納入した入学検定料は、願書受理後はいかなる理由があっても返還しません。
なお、本学の指定する日本留学試験の得点を満たしていなかった者は、13,000円を返還します。
また、第1段階選抜を実施した場合は、第1段階選抜不合格者についても13,000円を返還します。
5. 本学で交付した**受験票**を携帯していないと、学力検査及び面接を受けることはできません。
6. 志願者に対する宿泊施設の紹介等は入試課では行いません。本学生協で旅行会社を紹介していますのでお問い合わせください。
詳細は、本学生協ホームページ <https://www.univcoop.jp/titech> をご覧ください。
問い合わせ 電話03-3728-8023 東京工業大学生生活協同組合（平日 月～金 10～17時）
7. 新型コロナウイルス感染症拡大のため、学力検査及び面接実施方法について、最大限考慮します。なお、実施方法等に変更がある場合は「高校生・受験生向けサイト」で公表します。
8. 入試に関する最新情報は、「高校生・受験生向けサイト」で公表しますので、ご注意ください。
9. 新型コロナウイルス感染症に罹患し、試験日に入院中又は自宅や宿泊施設において療養中の志願者、試験直前に保健所等から濃厚接触者に該当するとされた志願者、また、発熱・咳等の症状があり、本学の第2段階選抜（第1次選考・第2次選考）当日の検温で37.5度以上の熱がある志願者は当日受験することができません。発熱・咳等の症状がない無症状の濃厚接触者については、受験できる場合があります。当日の朝、志願者自身が必ず検温を実施してください。その際、37.5度以上の熱がある志願者は、試験場への来場は控えてください。
これらの具体的な判断基準は、改めて「高校生・受験生向けサイト」で公表します。
なお、第2段階選抜（第1次選考）を受験出来なかった志願者を対象に別形式の選抜への振替、第2段階選抜（第2次選考）を受験出来なかった志願者を対象に追試験を実施します。
注. 追試験又は別形式の選抜への振替を行った受験者の追試験は実施しません。

X 志望系記入例

系名は、省略せずに正しく記入してください。

《例》第4志望系まで希望し、第5志望系「なし」の場合

志望系	第1志望	化学系	第4志望	生命理工学系
	第2志望	応用化学系	第5志望	なし系
	第3志望	融合理工学系		

◎志望系を必ず控えておくこと

志望系	第1志望	系	第4志望	系
	第2志望	系	第5志望	系
	第3志望	系		

東工大教育ポリシー

本学では、以下に記載している「教育目標」と「養成する人材像」を掲げるとともに、全学及び各系で「卒業認定・学位授与の方針（ディグリー・ポリシー）」、「教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）」、「入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）」を定め、教育ポリシーとして位置づけています。

教育ポリシー全文は次の web サイトに掲載中です。

[教育ポリシー] ≪ [東工大の方針] ≪ [東工大について] ≪ [本学 HP トップ]

<https://www.titech.ac.jp/0/about/policies/education>



教育目標

知的好奇心に端を発した学術研究は新たな技術と産業を生み、不可能を次々と可能にし、現代社会を築いてきました。

現在も、真理の探究と知の継承及び発展に加えて、持続可能な社会に導く革新的科学技術の創出が求められ、世界最高水準の研究とともに教育に対する期待がますます高まっています。

それに答えるべく、本学では、

- ・ 確かな専門力
- ・ 豊かな教養力
- ・ 柔軟なコミュニケーション力
- ・ 以上の修得した知識や技能等を統合し活用できる多様な展開力

を身に付け、「挑戦し続けるフロンティア」として困難に立ち向かう気概と倫理観をもって、より良い社会を築くことができる人材を養成します。

そのために、世界最高水準の研究の中に学生を招き入れ、学生が自ら学び考える教育を実施します。

養成する人材像

確かな専門力、豊かな教養力、柔軟なコミュニケーション力、多様な展開力を身に付け、科学技術を基盤としてより良い社会を築くことができる、「挑戦し続けるフロンティア」を養成します。

《学士課程》 「科学技術を基盤として自ら学び考えることができる人材」

学士課程では、基盤的な専門力、並びに、幅広い教養、そして、論理的に表現できる力を身に付け、倫理観と未知の世界に挑戦する意志をもって、自ら学び考えて物事に取り組むことができる人材を養成します。

※問い合わせは志願者本人が行うこと

東京工業大学 学務部入試課

〒152-8550 東京都目黒区大岡山 2-1-2 W8-103
TEL (03)5734-3990 (平日 9:00~17:15 (12:15~13:15 を除く))

※入試に関する最新情報等

東京工業大学ホームページ <https://www.titech.ac.jp/>

「高校生・受験生向けサイト」 <https://admissions.titech.ac.jp/>

MAP

- 大岡山キャンパス 東急大井町線・目黒線(大岡山駅下車徒歩1分)
- すずかけ台キャンパス 東急田園都市線(すずかけ台駅下車徒歩5分)
- 田町キャンパス JR山手線・京浜東北線(田町駅下車徒歩2分)

